

支所だより

東予総合支所

〒799-1394 周布349番地1 TEL0898-64-2700 FAX0898-65-4363

郷土の歴史を知ろう

～壬生川、伊予三芳駅の開通～

JR壬生川駅に駅西広場・東西自由通路が3月に完成し、駅へのアクセス向上、地域の活性化が期待されることですが、今回は壬生川、伊予三芳駅の歴史に触れてみたいと思います。

伊予西条～壬生川間は、大正12年5月1日、壬生川～伊予三芳間は同年10月1日に開通しています。

予讃線は、当初讃岐線、大正12年10月に讃予線と改称され、昭和5年4月から現在の名称となっています。

それぞれの地域では鉄道開通を記念する祝賀行事が盛大に催され、当時の新聞は「着車毎に万歳を連呼」「壬生川町夜の賑わい、全町狂乱の渦と化す」という大見出しでその熱狂ぶりを報じています。また、「伊予

東予・丹原・小松の各総合支所管内での、身近な出来事や話題などを紹介するコーナーです。

三芳駅開通式の歌」も残されています。

壬生川駅の位置については、色々と経過があったようですが多賀村三津屋に決定し、駅名は壬生川駅になりました。そのため壬生川町は、駅に通じる「壬生川停車場側面線」（通称「大正通り」、現在の県道孫兵衛作壬生川線の一部）を新設しています。

また路線計画には、松木幹一郎（河原津出身）、杉広三郎（三芳出身）、河上哲太（新市出身）の三氏も関わったといわれています。

改めて、現在のふるさとがあるのは、多くの先人のおかげと感じます。



▲JR 壬生川駅



▲JR 伊予三芳駅

丹原総合支所

〒791-0592 丹原町池田1733番地1 TEL0898-68-7300 FAX0898-68-4769

西条市丹原町が生んだ鉄道マン

～佐伯勇・近畿日本鉄道社長～

西条市は「新幹線の生みの親」といわれる第4代国鉄総裁・十河信二氏ゆかりの地です。また、「近鉄中興の祖」と呼ばれる佐伯勇・第7代近畿日本鉄道社長を輩出しています。

佐伯氏は明治36年西条市丹原町生まれ。十河氏より19歳年下です。地元の小学校を卒業後、三高（京都）などを経て東京帝国大学（現東京大学）法学部に入学したので、十河氏とは先輩、後輩の関係になります。

大学卒業後、近畿日本鉄道の前身、大阪電気軌道に入社し、駅員や運転士などを経験したあとは主に総務畑を歩き、昭和26年に社長に就任。十河氏が国鉄総裁

を務めた昭和30年～38年を含めて21年余り在職されたあと、会長、相談役名誉会長を務められました。

新型車両・ビスタカーや名阪直通特急の導入、プロ野球球団の設立など近鉄グループの拡大に実業家としての手腕を遺憾なく発揮されて近畿日本鉄道を日本最大の私鉄に成長させる一方、文楽協会を設立して理事長に就任するなど情感豊かな趣味人でもありました。佐伯記念館・郷土資料館には、昭和48年の近畿日本鉄道佐伯会長・今里社長就任披露パーティーに駆け付けた十河氏の写真が保管されています。



▲左から十河信二氏、佐伯勇氏、今里英三氏

小松総合支所

〒799-1198 小松町新屋敷甲496番地 TEL0898-72-2111 FAX0898-72-4048

小松歴史散策マップ完成！

～歴史散策の必携地図～

近藤篤山旧邸、小松藩陣屋跡、藩主の墓所や菩提寺の佛心寺など、小松には藩政時代の歴史をしのばせる名所、旧跡が多く残っています。それらを巡り、小松の先人、偉人などの情報を広く多くの方に知ってもらいたいとの思いから、小松公民館と小松温芳図書館との共同企画で「小松歴史散策マップ」を作りました。

マップには、小松藩にゆかりのある史跡などを巡る「一万石コース」、小松の



▲小松歴史散策マップ

歴史を築いてきた先人、偉人たちをしのぶ「人物コース」、そして江戸時代から残る歴史ある神社や寺、そしてお地蔵さんなどを巡る「神社仏閣コース」を掲載しています。どれも小松の歴史を堪能できるコースとなっています。

それぞれのコースには移動距離も書いてあり、歴史ファンはもとより、健康づくりのウォーキングマップとして利用することもできます。楽しく歩きながら小松の歴史を学んでみてはいかがでしょうか。

小松歴史散策マップは、小松公民館、小松温芳図書館で配布しています。

【小松歴史散策マップに関する問合せ】

○小松公民館 TEL0898-72-2631

○小松温芳図書館 TEL0898-72-5634